

6. 障がい者に関する問題について

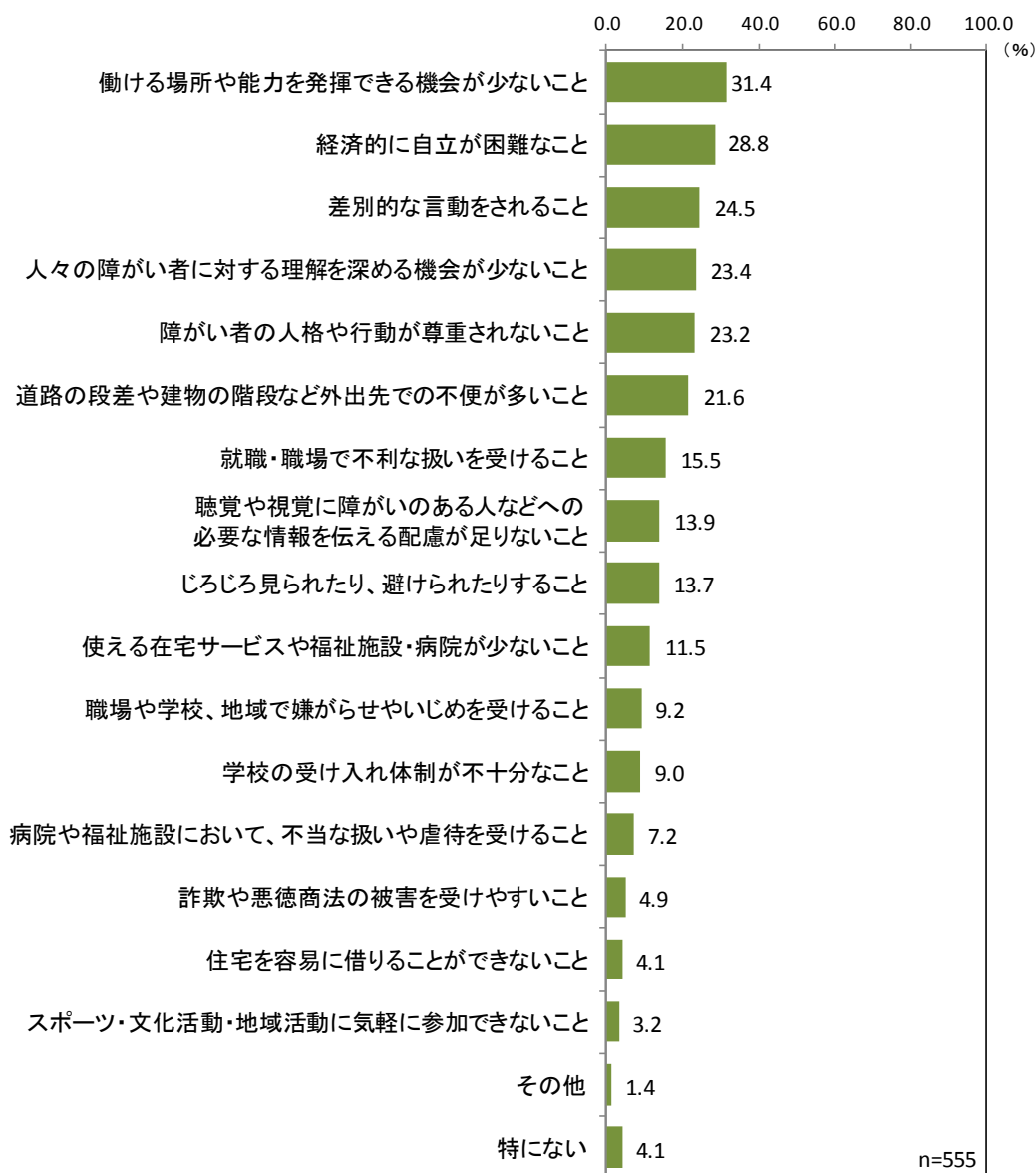
(1) 障がい者に関する人権上の問題

問 15 あなたが障がい者に関する事柄で、特に人権上問題があると思われるのはどのような事柄ですか。次の中から該当するものに○を3つまでつけてください。(複数回答、3つまでに限定)

- ✓ 「働ける場所や能力を發揮できる機会が少ないこと」が31.4%で最も高く、これに「経済的に自立が困難なこと」の28.8%、「差別的な言動をされること」の24.5%が続いている。
- ✓ 平成24年度の調査結果と比較すると、「差別的な言動をされること」の割合が10.8ポイント、「学校の受け入れ体制が不十分なこと」8.2ポイント、「人々の障がい者に対する理解を深める機会が少ないこと」6.2ポイントそれぞれ減少している。

全体でみると、「働ける場所や能力を發揮できる機会が少ないこと」が31.4%で最も高く、これに「経済的に自立が困難なこと」の28.8%、「差別的な言動をされること」の24.5%が続いている。

＜障がい者に関して特に人権上問題があると思われるもの（全体）＞



平成 24 年度の調査結果と比較すると、「差別的な言動をされること」の割合が 10.8 ポイント、「学校の受け入れ体制が不十分なこと」8.2 ポイント、「人々の障がい者に対する理解を深める機会が少ないこと」6.2 ポイントそれぞれ減少している。

＜障がい者に関して特に人権上問題があると思われるもの（全体及び 24 年度との比較）＞

n=555	30年度		24年度
	度数	%	%
障がい者の人格や行動が尊重されないこと (結婚、就職に際しての周囲の反対など)	129	23.2	24.0
差別的な言動をされること	136	24.5	35.3
聴覚や視覚に障がいのある人などへの必要な情報を伝える配慮が足りないこと	77	13.9	9.9
人々の障がい者に対する理解を深める機会が少ないこと	130	23.4	29.6
道路の段差や建物の階段など外出先での不便が多いこと	120	21.6	18.8
働ける場所や能力を発揮できる機会が少ないこと	174	31.4	36.5
住宅を容易に借りることができないこと	23	4.1	8.5
就職・職場で不利な扱いを受けること	86	15.5	16.5
職場や学校、地域で嫌がらせやいじめを受けること	51	9.2	-
病院や福祉施設において、不当な扱いや虐待を受けること	40	7.2	8.5
使える在宅サービスや福祉施設・病院が少ないこと	64	11.5	7.8
学校の受け入れ体制が不十分なこと	50	9.0	17.2
詐欺や悪徳商法の被害を受けやすいこと	27	4.9	5.6
スポーツ・文化活動・地域活動に気軽に参加できないこと	18	3.2	5.6
経済的に自立が困難なこと	160	28.8	29.6
じろじろ見られたり、避けられたりすること	76	13.7	-
その他	8	1.4	0.9
特になし	23	4.1	1.6
合計	1,392	複数回答で1人当たり平均2.5個を選択	

性別にみると、「男性」の割合が「女性」より高いのは「就職・職場で不利な扱いを受けること」と「住宅を容易に借りることができないこと」となっている。一方「女性」の割合が「男性」より高いのは「じろじろ見られたり、避けられたりすること」となっている。

年代別にみた割合の高い選択肢は以下のとおり。

- 「29 歳以下」:「差別的な言動をされること」(42.6%)、「障がい者の人格や行動が尊重されないこと(結婚、就職に際しての周囲の反対など)」(29.6%)、「就職・職場で不利な扱いを受けること」(27.8%)
- 「30～39 歳」:「障がい者の人格や行動が尊重されないこと(結婚、就職に際しての周囲の反対など)」(41.4%)、「人々の障がい者に対する理解を深める機会が少ないこと」(32.8%)、「経済的に自立が困難なこと」(25.9%)
- 「40～49 歳」:「働ける場所や能力を発揮できる機会が少ないこと」(45.3%)、「経済的に自立が困難なこと」(41.5%)、「人々の障がい者に対する理解を深める機会が少ないこと」(35.8%)
- 「50～59 歳」:「働ける場所や能力を発揮できる機会が少ないこと」(39.2%)、「道路の段差や建物の階段など外出先での不便が多いこと」(28.4%)、「経済的に自立が困難なこと」(同)

「60～69歳」：「経済的に自立が困難なこと」（33.0%）、「働ける場所や能力を發揮できる機会が少ないこと」（30.1%）、「人々の障がい者に対する理解を深める機会が少ないこと」（22.3%）
「70～79歳」：「働ける場所や能力を發揮できる機会が少ないこと」（31.6%）、「経済的に自立が困難なこと」（26.5%）、「差別的な言動をされること」（21.4%）、「経済的に自立が困難なこと」（26.5%）、「道路の段差や建物の階段など外出先での不便が多いこと」（同）
「80歳以上」：「道路の段差や建物の階段など外出先での不便が多いこと」（25.7%）、「経済的に自立が困難なこと」（同）、「障がい者の人格や行動が尊重されないこと（結婚、就職に際しての周囲の反対など）」（21.6%）

<性別、年代別にみた障がい者に関して特に人権上問題があると思われるもの（その1）>

	合計	周囲の反対など（結婚や就職に際しての尊重されないこと）	差別的な言動をされること	りへの必要情報や伝えの配慮が不足	聴覚や視覚に障がいのある人など	める機会が少ないことに対する理解を深	先での不便が多いこと	道路の段差や建物の階段など外出	働ける場所や能力を發揮できる機	住宅を容易に借りることができな	就と職・職場で不利な扱いを受ける	職場や学校、地域で嫌がらせやい
全体	555	129 23.2%	136 24.5%	77 13.9%	130 23.4%	120 21.6%	174 31.4%	23 4.1%	86 15.5%	51 9.2%		
■性別												
男性	224	47 21.0%	54 24.1%	33 14.7%	47 21.0%	47 21.0%	75 33.5%	16 7.1%	44 19.6%	16 7.1%		
女性	306	78 25.5%	70 22.9%	42 13.7%	79 25.8%	69 22.5%	91 29.7%	5 1.6%	41 13.4%	35 11.4%		
無回答	25	4 16.0%	12 48.0%	2 8.0%	4 16.0%	4 16.0%	8 32.0%	2 8.0%	1 4.0%	0 0.0%		
■年代別												
～29歳	54	16 29.6%	23 42.6%	11 20.4%	13 24.1%	9 16.7%	13 24.1%	1 1.9%	15 27.8%	14 25.9%		
30～39歳	58	24 41.4%	9 15.5%	7 12.1%	19 32.8%	9 15.5%	18 31.0%	3 5.2%	14 24.1%	10 17.2%		
40～49歳	53	16 30.2%	16 30.2%	5 9.4%	19 35.8%	8 15.1%	24 45.3%	0 0.0%	9 17.0%	6 11.3%		
50～59歳	74	15 20.3%	18 24.3%	14 18.9%	16 21.6%	21 28.4%	29 39.2%	2 2.7%	8 10.8%	7 9.5%		
60～69歳	103	19 18.4%	21 20.4%	17 16.5%	23 22.3%	20 19.4%	31 30.1%	4 3.9%	19 18.4%	5 4.9%		
70～79歳	117	19 16.2%	25 21.4%	11 9.4%	25 21.4%	30 25.6%	37 31.6%	5 4.3%	14 12.0%	4 3.4%		
80歳以上	74	16 21.6%	13 17.6%	10 13.5%	13 17.6%	19 25.7%	14 18.9%	5 6.8%	6 8.1%	5 6.8%		
無回答	22	4 18.2%	11 50.0%	2 9.1%	2 9.1%	4 18.2%	8 36.4%	3 13.6%	1 4.5%	0 0.0%		

<性別、年代別にみた障がい者に関して特に人権上問題があると思われるもの(その2)>

	合計	病院や福祉施設において、不当な扱いや虐待を受けること	病院内在宅サービスや福祉施設・使える在宅サービス	学校の受け入れ体制が不十分なこと	詐欺や悪徳商法の被害を受けやすいこと	スポーツ・文化活動・地域活動に気軽に参加できないこと	経済的に自立が困難なこと	りじろじろ見られたり、避けられたりすること	その他	特にない
全体	555	40 7.2%	64 11.5%	50 9.0%	27 4.9%	18 3.2%	160 28.8%	76 13.7%	8 1.4%	23 4.1%
■性別										
男性	224	15 6.7%	26 11.6%	18 8.0%	15 6.7%	11 4.9%	63 28.1%	23 10.3%	4 1.8%	10 4.5%
女性	306	23 7.5%	34 11.1%	30 9.8%	9 2.9%	6 2.0%	90 29.4%	51 16.7%	4 1.3%	12 3.9%
無回答	25	2 8.0%	4 16.0%	2 8.0%	3 12.0%	1 4.0%	7 28.0%	2 8.0%	0 0.0%	1 4.0%
■年代別										
～29歳	54	5 9.3%	3 5.6%	8 14.8%	2 3.7%	1 1.9%	11 20.4%	13 24.1%	1 1.9%	1 1.9%
30～39歳	58	9 15.5%	2 3.4%	8 13.8%	3 5.2%	1 1.7%	15 25.9%	14 24.1%	0 0.0%	0 0.0%
40～49歳	53	1 1.9%	8 15.1%	6 11.3%	2 3.8%	1 1.9%	22 41.5%	9 17.0%	0 0.0%	0 0.0%
50～59歳	74	6 8.1%	7 9.5%	12 16.2%	2 2.7%	4 5.4%	21 28.4%	6 8.1%	2 2.7%	2 2.7%
60～69歳	103	9 8.7%	13 12.6%	7 6.8%	6 5.8%	0 0.0%	34 33.0%	11 10.7%	1 1.0%	6 5.8%
70～79歳	117	6 5.1%	15 12.8%	4 3.4%	6 5.1%	6 5.1%	31 26.5%	14 12.0%	3 2.6%	7 6.0%
80歳以上	74	2 2.7%	12 16.2%	3 4.1%	3 4.1%	4 5.4%	19 25.7%	8 10.8%	1 1.4%	6 8.1%
無回答	22	2 9.1%	4 18.2%	2 9.1%	3 13.6%	1 4.5%	7 31.8%	1 4.5%	0 0.0%	1 4.5%

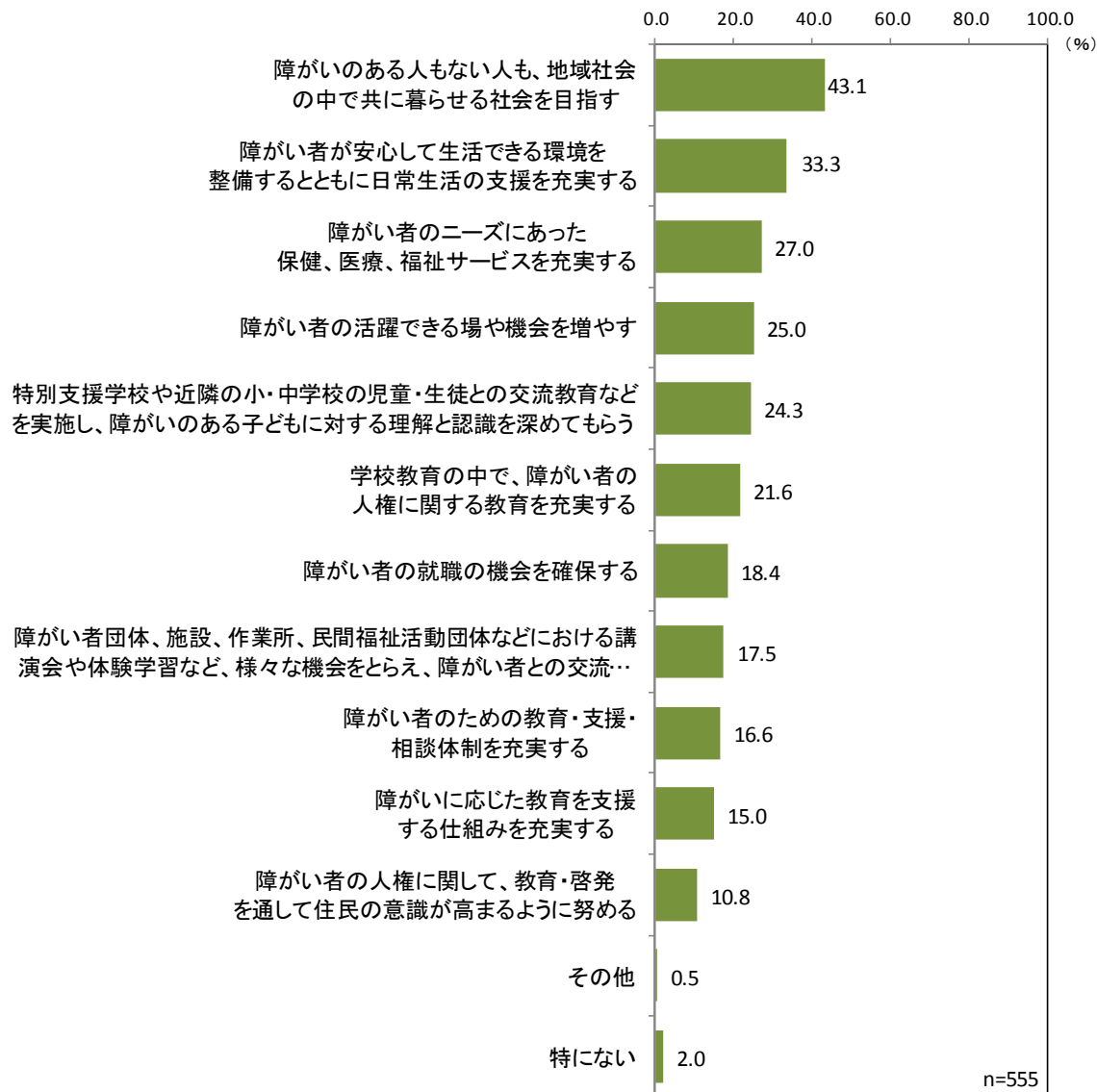
(2) 障がい者の人権を守るために必要なこと

問 16 障がい者の人権を守るために必要なことはどのようなことだと思いますか。
次の中から該当するものに○を3つまでつけてください。(複数回答、3つまでに限定)

- ✓ 「障がいのある人もない人も、地域社会の中で共に暮らせる社会を目指す」が43.1%で最も高く、これに「障がい者が安心して生活できる環境を整備するとともに日常生活の支援を充実する」の33.3%、「障がい者のニーズにあった保健、医療、福祉サービスを充実する」の27.0%が続いている。
- ✓ 平成24年度の調査結果と比較すると、「障がい者が安心して生活できる環境（バリアフリーなど）を整備するとともに日常生活の支援を充実する」の割合が4.1ポイント、「障がい者のニーズにあった保健、医療、福祉サービスを充実する」3.9ポイントそれぞれ増加している。

全体で見ると、「障がいのある人もない人も、地域社会の中で共に暮らせる社会を目指す」が43.1%で最も高く、これに「障がい者が安心して生活できる環境を整備するとともに日常生活の支援を充実する」の33.3%、「障がい者のニーズにあった保健、医療、福祉サービスを充実する」の27.0%が続いている。

＜障がい者の人権を守るために必要なこと（全体）＞



平成 24 年度の調査結果と比較すると、「障がいに応じた教育を支援する仕組みを充実する」の割合が 11.4 ポイント、「障がい者の就職の機会を確保する」10.3 ポイント、「学校教育の中で、障がい者の人権に関する教育を充実する」6.4 ポイント、「障がい者の人権に関して、教育・啓発を通して住民の意識が高まるように努める」6.1 ポイントそれぞれ減少している。一方「障がい者が安心して生活できる環境（バリアフリーなど）を整備するとともに日常生活の支援を充実する」の割合が 4.1 ポイント、「障がい者のニーズにあった保健、医療、福祉サービスを充実する」3.9 ポイントそれぞれ増加している。今回、新設した「障がい者の活躍できる場や機会を増やす」は 25.0%と、全体で 4 番目に高い割合となっている。

＜障がい者の人権を守るために必要なこと（全体及び 24 年度との比較）＞

n=555	30年度		24年度
	度数	%	%
障がいのある人もない人も、地域社会の中で共に暮らせる社会を目指す	239	43.1	44.9
障がい者団体、施設、作業所、民間福祉活動団体などにおける講演会や体験学習など、様々な機会をとらえ、障がい者との交流を図る	97	17.5	17.6
障がい者の人権に関して、教育・啓発を通して住民の意識が高まるように努める	60	10.8	16.9
学校教育の中で、障がい者の人権に関する教育を充実する	120	21.6	28.0
障がい者が安心して生活できる環境（バリアフリーなど）を整備するとともに日常生活の支援を充実する	185	33.3	29.2
障がい者のニーズにあった保健、医療、福祉サービスを充実する	150	27.0	23.1
障がい者の就職の機会を確保する	102	18.4	28.7
特別支援学校や近隣の小・中学校の児童・生徒との交流教育などを実施し、障がいのある子どもに対する理解と認識を深めてもらう	135	24.3	24.2
障がいに応じた教育を支援する仕組みを充実する	83	15.0	26.4
障がい者のための教育・支援・相談体制を充実する	92	16.6	17.2
障がい者の活躍できる場や機会を増やす	139	25.0	-
その他	3	0.5	0.5
特になし	11	2.0	0.5
合計	1,416	複数回答で1人当たり平均2.6個を選択	

性別にみると、「女性」の割合が「男性」より高いのは「障がい者の活躍できる場や機会を増やす」となっている。

年代別にみた割合の高い選択肢は以下のとおり。

- 「29歳以下」：「障がいのある人もない人も、地域社会の中で共に暮らせる社会を目指す」(46.3%)、「特別支援学校や近隣の小・中学校の児童・生徒との交流教育などを実施し、障がいのある子どもに対する理解と認識を深めてもらう」(35.2%)、「障がい者が安心して生活できる環境（バリアフリーなど）を整備するとともに日常生活の支援を充実する」(33.3%)
- 「30～39歳」：「障がいのある人もない人も、地域社会の中で共に暮らせる社会を目指す」(46.6%)、「特別支援学校や近隣の小・中学校の児童・生徒との交流教育などを実施し、障がいのある子どもに対する理解と認識を深めてもらう」(39.7%)、「障がい者が安心して生活できる環境（バリアフリーなど）を整備するとともに日常生活の支援を充実する」(31.0%)、「障がい者の活躍できる場や機会を増やす」(同)
- 「40～49歳」：「特別支援学校や近隣の小・中学校の児童・生徒との交流教育などを実施し、障がいのある子どもに対する理解と認識を深めてもらう」(39.6%)、「障がいのある人もない人も、地域社会の中で共に暮らせる社会を目指す」(35.8%)、「障がい者団体、施設、作業所、民間福祉活動団体などにおける講演会や体験学習など、様々な機会をとらえ、障がい者との交流を図る」(30.2%)
- 「50～59歳」：「障がいのある人もない人も、地域社会の中で共に暮らせる社会を目指す」(43.2%)、「障がい者が安心して生活できる環境（バリアフリーなど）を整備するとともに日常生活の支援を充実する」(36.5%)、「障がい者のニーズにあった保健、医療、福祉サービスを充実する」(同)
- 「60～69歳」：「障がいのある人もない人も、地域社会の中で共に暮らせる社会を目指す」(40.8%)、「障がい者が安心して生活できる環境（バリアフリーなど）を整備するとともに日常生活の支援を充実する」(同)、「障がい者のニーズにあった保健、医療、福祉サービスを充実する」(31.1%)
- 「70～79歳」：「障がいのある人もない人も、地域社会の中で共に暮らせる社会を目指す」(44.4%)、「障がい者が安心して生活できる環境（バリアフリーなど）を整備するとともに日常生活の支援を充実する」(32.5%)、「障がい者のニーズにあった保健、医療、福祉サービスを充実する」(24.8%)
- 「80歳以上」：「障がいのある人もない人も、地域社会の中で共に暮らせる社会を目指す」(41.9%)、「障がい者が安心して生活できる環境（バリアフリーなど）を整備するとともに日常生活の支援を充実する」(28.4%)、「障がい者のニーズにあった保健、医療、福祉サービスを充実する」(21.6%)、「障がい者の活躍できる場や機会を増やす」(同)

<性別、年代別にみた障がい者の人権を守るために必要なこと>

	合計	障がいのある人もない人も、地域社会の中で共に暮らせる社会を目指す	え、障がい者との交流を図る	障がい者団体、施設、作業所、民間福祉活動団体など	障がい者の人権に関して、教育・啓発を通して住民の意識が高まるように努める	障がい者の人権に関する教育を充実	障がい者が安心して生活できる環境（バリアフリーな	障がい者のニーズにあった保健、医療、福祉サービスを充実する	障がい者の就職の機会を確保する	障がい者の就職の機会を確保する	障がい者に応じた教育を支援する仕組みを充実する	障がい者のための教育・支援・相談体制を充実する	障がい者の活躍できる場や機会を増やす	その他	特にな
全体	555	239 43.1%	97 17.5%	60 10.8%	120 21.6%	185 33.3%	150 27.0%	102 18.4%	135 24.3%	83 15.0%	92 16.6%	139 25.0%	3 0.5%	11 2.0%	
■性別															
男性	224	99 44.2%	42 18.8%	25 11.2%	53 23.7%	78 34.8%	62 27.7%	43 19.2%	52 23.2%	28 12.5%	36 16.1%	49 21.9%	1 0.4%	6 2.7%	
女性	306	129 42.2%	48 15.7%	30 9.8%	61 19.9%	101 33.0%	82 26.8%	53 17.3%	75 24.5%	53 17.3%	50 16.3%	87 28.4%	2 0.7%	5 1.6%	
無回答	25	11 44.0%	7 28.0%	5 20.0%	6 24.0%	6 24.0%	6 24.0%	6 24.0%	8 32.0%	2 8.0%	6 24.0%	3 12.0%	0 0.0%	0 0.0%	
■年代別															
～29歳	54	25 46.3%	12 22.2%	5 9.3%	13 24.1%	18 33.3%	14 25.9%	14 25.9%	19 35.2%	11 20.4%	11 20.4%	14 25.9%	1 1.9%	1 1.9%	
30～39歳	58	27 46.6%	9 15.5%	7 12.1%	15 25.9%	18 31.0%	13 22.4%	12 20.7%	23 39.7%	12 20.7%	14 24.1%	18 31.0%	0 0.0%	0 0.0%	
40～49歳	53	19 35.8%	16 30.2%	7 13.2%	14 26.4%	15 28.3%	13 24.5%	10 18.9%	21 39.6%	9 17.0%	7 13.2%	15 28.3%	0 0.0%	0 0.0%	
50～59歳	74	32 43.2%	6 8.1%	9 12.2%	11 14.9%	27 36.5%	27 36.5%	12 16.2%	16 21.6%	12 16.2%	16 21.6%	19 25.7%	2 2.7%	0 0.0%	
60～69歳	103	42 40.8%	19 18.4%	6 5.8%	25 24.3%	42 40.8%	32 31.1%	17 16.5%	22 21.4%	14 13.6%	11 10.7%	27 26.2%	0 0.0%	3 2.9%	
70～79歳	117	52 44.4%	17 14.5%	13 11.1%	22 18.8%	38 32.5%	29 24.8%	22 18.8%	17 14.5%	16 13.7%	13 11.1%	27 23.1%	0 0.0%	4 3.4%	
80歳以上	74	31 41.9%	12 16.2%	10 13.5%	14 18.9%	21 28.4%	16 21.6%	9 12.2%	11 14.9%	7 9.5%	15 20.3%	16 21.6%	0 0.0%	3 4.1%	
無回答	22	11 50.0%	6 27.3%	3 13.6%	6 27.3%	6 27.3%	6 27.3%	6 27.3%	6 27.3%	2 9.1%	5 22.7%	3 13.6%	0 0.0%	0 0.0%	